

被爲仰付奉差上候處、貞享四卯年、主水同様ニ御膳御菓子御用被仰付奉差上候、右御由緒を以於、長崎御砂糖直買被仰付、年々奉請取候、以上、

五月

虎屋織江

〔貞享四年〕江戸總鹿子〔六〕菓子所

本飯田町

虎屋

ふきや町

るびすや九兵衛以下廿軒略

京下り菓子屋

本町一丁目

桔梗屋和泉掾

同町

同 土佐掾

山下町

すわまや

新橋南一丁目

松屋山城

〔武江年表〕〔六〕此年間永〇安記事

安永十年俳人提亭の撰たる種おろしと云句集に載る所の其時代のはやり物商物、目錄左に略記す、菓子屋下谷廣小路金澤、本町鈴木越後、同鳥飼、本郷ま

〔江戸名物詩〕初編越後屋播磨菓子石町

新製流行播磨掾詰來菓子艶於花、人々攜至知何家、定是權門取次家、

〔江戸總鹿子〕〔五〕水菓子や

瀬戸物町 南鍋町 京橋北貳丁目廣小路 四谷しほ町 神田すた町

〔天保武鑑〕御水菓子屋

かんだすだ町 三河屋五郎兵衛

〔令義解職一員〕大膳職

雜載